

# JPI-8S-4-2006 (第1刷) の正誤表

(電気設備機維持規格)

(2006年12月15日)

頁	該当箇所	誤	正
3	用語の定義 JEMA	<u>THE STANDARD OF THE JAPAN</u> …	<u>THE STANDARD OF</u> を削除する。
6	表 1.4.1 重合度診断フルフルール分析の欄	…フルフルール量を測定し <u>平均残存率</u> を推定し診断する。	…フルフルール量を測定し <u>平均重合度残率</u> を推定し診断する。
8	図 2.1.1	化学的要因の破線内の“ <u>膨張</u> ”	“ <u>膨潤</u> ”に修正
11	5.1 一般事項 3行目	…常に精度を維持 <u>していることを保証</u> する必要がある。	<u>していることを保証</u> を削除する。
	同 下から2行目	…点検記録として保管 <u>される</u> ほか、…	…点検記録として保管 <u>する</u> ほか、…
13	2.1 変圧器本体の劣化の2行目	変圧器の <u>劣化</u> は、次の4つの要因が単独又は複合的に作用して劣化が進展していく。	<u>の劣化</u> を削除する。
14	2.1.3 a) 振動及び緩みの1行目	外部事故が発生した場合、定格電流の数十倍の <u>外部</u> 事故電流が流れ、	<u>外部</u> を削除する。
20	表 3.1.2 の絶縁破壊電圧の2行目	絶縁破壊電圧は油中の水分及び不純物の存在によって大きく左右される。	絶縁破壊電圧は <u>絶縁</u> 油中の水分及び不純物の存在によって大きく左右される。
	3.2.1 b) 油中ガス分析の2行目	この時に化学反応によるガス <u>を</u> 発生し絶縁油中に溶解する。	この時に化学反応によるガス <u>が</u> 発生し絶縁油中に溶解する。
	表 3.2.2 の異常の種類	油浸固体絶縁物の <u>加熱</u>	油浸固体絶縁物の <u>過熱</u>
21	a) 重合度法の3行目	困難であることが <u>一般的な状況である。</u>	困難であることが <u>多い。</u>
	b) CO+CO <sub>2</sub> による診断の1行目	絶縁油中のガス分析のうち CO+CO <sub>2</sub> は平均重合度の低下	絶縁油中のガス分析のうち CO+CO <sub>2</sub> の <u>生成量</u> は平均重合度の低下
26	26 頁の最下段	分析ミス <u>でないことや増加傾向にあること</u> を確認することが必要である。	分析ミス <u>ではないことや増加傾向にあるかどうか</u> を確認することが必要である。
33	表 2.1.1 最上欄の項目欄	劣化 対策	劣化 <u>要因</u> 対策 <u>(例)</u>
35	3.2.1 a) 2) 直流漏れ電流測定 の1行目	…直流電圧を <u>数分間</u> 印加して…	…直流電圧を <u>数分間～10分程度</u> 印加して…
36	5) のタイトル	<u>部分放電測定</u>	<u>交流電圧</u> 部分放電測定
38	【参考】1.2 判定基準例	表中の「 <u>正極比 1 未満</u> 」	「 <u>成極比 1 未満</u> 」
40	表 4.1.3 のブリッジ法	<u>1,0000</u> 以上	<u>10,000</u> 以上
50	2.2.2 電氣的劣化の1行目	… <u>接地</u> 事故による…	… <u>地絡</u> 事故による…
52	d) 空気遮断器の1行目	<u>磁気</u> 遮断器の劣化…	<u>空気</u> 遮断器の劣化…
62	表 3.3.1 の点検内容の19 行目	500V メガーで 0.1MΩ 以上	500V メガーで 0.1MΩ 以上( <u>電圧 100V の場合</u> )
68	表 4.1.1 の主回路用遮断器開閉器類の判定基準	開閉表示、指示は正常 <u>か。</u>	開閉表示、指示は正常 <u>であること。</u>
71	c) のタイトル	開閉 <u>動作</u> 特性試験	<u>動作</u> を削除する。
85	表 2.3.1 の機械的要因	…、 <u>熱</u> サイクル、	…、 <u>ヒート</u> サイクル、
86	2.5.1 2行目	…、 <u>磨耗</u> 、… (この語句は全て同様に修正)	…、 <u>摩耗</u> 、…
89	2.6 下から2行目 4行目	…、一定値以下になった場合に劣化として <u>推定する場合</u> もある。	…、一定値以下になった場合に劣化として <u>判定する方法</u> もある。
	2.7 3行目	…、 <u>消音材</u> の目詰まりや…	…、 <u>フィルター</u> の目詰まりや…
91	3.1.2 a) の1～2行目	…、楔について、 <u>絶縁の損傷</u> 、亀裂、…… …… <u>塵埃</u> 、油分、 <u>油分</u> 、水分など……	…、楔について、 <u>損傷</u> 、亀裂、…… …… <u>塵埃</u> 、油分、 <u>油分</u> 、水分など……
	3.1.2 b) 3行目	…固定子巻線と同様に <u>絶縁の損傷</u> 、亀裂…	…固定子巻線と同様に <u>損傷</u> 、亀裂…
96	表 4.1.4 の判定基準	<u>0.5MΩ</u> (2箇所)	<u>0.4MΩ</u>

101	4.5.3 の 2 行目	…定期 S/D 前…	…定期修理工事前…
104	表 4.5.3 の点検周期	通常：定期 S/D 前	通常：定期修理工事前
111	図 5.2.1	ラインの変更 (定期点検の上の右からライン) 普通点検実施の必要性の下に項目挿入	ラインの変更 (重要度分類・点検周期・管理台帳登録の上に移動) 「普通点検」の枠を挿入
115	2.3.1 a) の 1~2 行目	…できる開口をもった蓋をもつ蓄電池で、…	…できる開口がある蓋をもつ蓄電池で、…
	同 3 行目	「したものという。」が中央に植字。	「したものという。」が左寄せにする。
116	上から 2 行目	……芯金の腐食が増進する。…	……芯金の腐食が進行する。…
119	表中	活物質結晶の成	活物質結晶の生成
121	2.5.2 b) 1) の 1 行目	放電容量が定格容量 80%以下に低下した場合…	放電容量が定格容量の 80%以下になった場合…
125	上から 5 行目	…がある。同形蓄電池の…	…がある。制御弁式蓄電池の…
134	c) の 1 行目	……公称容量の…	……定格容量の…
135	最終行	……小さいので、 <u>診断の方法としてあまり採用していない。</u>	……小さいので、 <b>採用実績が少ない。</b>
137	4.4.2 a) の 2 行目	……電解液の拡散が良好となり、 <u>電気抵抗は減少する。</u>	……電解液の拡散が良好となり、 <b>内部抵抗は減少する。</b>
	4.4.2 b) の 2~3 行目	…内部抵抗が <u>増大し</u> 電圧降下が大きくなるため、…。また、……粘度が増大してイオン拡散が阻害される。	…内部抵抗が <b>増加</b> 電圧降下が大きくなるため、…。また、……粘度が増大し <b>イオン</b> 拡散が阻害される。
138	表 4.4.2 のタイトル	蓄電池の温度管理	<b>鉛及びアルカリ</b> 蓄電池の温度管理
139	5.2.1 b) のタイトル	蓄電池セットでの補修	蓄電池セット <b>の</b> 補修

(2007 年 11 月 13 日)

頁	該当箇所	誤	正
29	5.2.1a)切換開閉器	……、全酸化 <b>0.7 以下</b> の場合…	……、全酸化 <b>0.7 以上</b> の場合…

(2007 年 12 月 20 日)

頁	該当箇所	誤	正
73	表 4.3.5 6 kV 級モールド型 VT & CT の劣化診断調査 方法および判定基準例	表 4.3.5	表 4.3.6
		5) v-t 特性試験 判定基準 ②v-t 試験後の電気試験(上記 1~ <b>6</b> )	5) v-t 特性試験 判定基準 ②v-t 試験後の電気試験(上記 1~ <b>4</b> )
		6) ヒートサイクル試験 判定基準 ヒートサイクル後の電気試験(上記 1~ <b>6</b> )	6) ヒートサイクル試験 判定基準 ヒートサイクル後の電気試験(上記 1~ <b>4</b> )

(2008年1月18日)

頁	該当箇所	誤	正
29	5.1.3 絶縁油	窒素封入式油劣化装置を備えた・・・	窒素封入式油劣化 <b>防止</b> 装置を備えた・・・
79	5.1.1 操作機構部	・・・、長期間にわたり遮断器 <b>本来</b> の性能を・・・	・・・、長期間にわたり遮断器 <b>本来</b> の性能を・・・
79	5.1.3 その他	・・・、発せい（錆）部分を除去し、・・・	・・・、発せい（錆）部分を除去し、 <b>または発せい部品を交換し</b> ・・・
117	2.3.2 アルカリ蓄電池	・・・アルカリ蓄電池には、ポケット式極板を・・・	・・・アルカリ蓄電池には、 <b>極板の構造で</b> ポケット式極板を・・・
137	4.4.2 a)鉛蓄電池	・・・軟化現象が促進され、また、自己放電が多くなり・・・	・・・軟化現象が促進され、また、自己放電 <b>量</b> が多くなり・・・
139	5.2.1 c) 活性化による補修	・・・又は電解液交換と活性化を・・・	・・・又は電解液交換と <b>充放電による</b> 活性化を・・・